



ドブレストーブ

640CBJ/760CBJ

取扱説明書



ドブレストーブの機能を十分発揮させ、効果的かつ安全にお使いいただくために、
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

また、お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管してください。

株式会社 メトス

はじめに

このたびは、ドブレストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、ドブレストーブ 640CBJ、760CBJ に関するご使用上の注意事項と使用方法を説明しています。

ドブレストーブの機能を十分発揮させ、効果的かつ安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管してください。

目次

はじめに	1	メンテナンス	15
目次	1	扉ガラスのお手入れ	15
安全上のご注意	2	ストーブ表面のお手入れ	15
ドブレストーブの仕組み	4	灰の処理	15
ご使用前に	5	煙突掃除	16
点検	5	ガスケットの交換	16
薪ストーブ使用時のポイント	5	仕様	18
		仕様表	18
ドブレストーブ 640CB、760CB	6	分解図	18
各部の名称と機能	6	オプション用品	23
ご使用方法	8	燃料	23
日常のメンテナンス	13	メンテナンス用品	24
		その他のオプション用品	25
		トラブルシューティング	25

安全上のご注意

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、安全上のご注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

この章に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。記号と意味は下記のとおりです。内容をよく理解してからお読みください。



警告：警告事項を守らないと死亡や重傷に至る重大な事故を起こす恐れがあります。



注意：注意事項を守らないとケガを負う、または製品に損傷を与える恐れがあります。



警告

- ガソリン、灯油、プラスチック、ビニール、ゴム、竹、発泡スチロール、ベニヤ、化学塗料で塗装された木材などは絶対に燃やさないでください。また、ストーブを焼却炉として使用しないでください。本体や煙突の耐久性を弱める、あるいは有毒ガス発生の原因となる恐れがあります。
- ストーブの上や周囲および煙突の周囲には、紙・衣類・洗濯物など可燃物を置かないでください。火災の原因となる恐れがあります。
- ストーブの周囲には、ガソリン、ベンジン、スプレー缶など引火の恐れのあるものを置かないでください。火災の原因となる恐れがあります。
- ストーブや煙突は、絶対に改造しないでください。正常な機能が損なわれる恐れがあります。
- 居室の給気口は常に確保し、家具などでふさがないようにください。室内の空気が不足して酸欠状態になる、あるいは煙や炎が室内に戻ってくる恐れがあります。
- 燃焼中に扉のガラスにヒビが入るなどして破損した場合は、使用を中止し、修理が完了するまで使用しないでください。
- 灰は、必ず不燃性の容器に入れてフタをし、可燃物のない場所に保管し、完全に鎮火後、廃棄してください。灰を処理するときに紙袋や樹脂製バケツなどは、絶対に使用しないでください。灰が入っている容器を、可燃物の上に置かないでください。灰は冷めているように見えても、長時間火種が残っています。
- 煙道内火災は煙突だけでなく、建物本体にもダメージを与えて、火災の原因となる恐れがあります。一年に一回以上、煙突を掃除してください。
- ストーブから離れるときは、すべての扉がロックされていることを確認してください。薪が崩れて扉が開き、燃焼中の薪や火種がストーブの外に落ちて、火災の原因となる恐れがあります。
- 屋根に上って作業をする場合は、安全を確保しておこなってください。

 **注意**

- 燃焼中および燃焼後しばらくの間は、ストーブや煙突は高温になっておりますので、絶対にさわらないでください。火傷の原因となります。
- 扉および給気口の開閉操作、着火、薪の投入など、ストーブを扱う場合は、必ず保護手袋を装着してください。燃焼中および燃焼後しばらくの間、ストーブは大変熱くなるため、直接触れると火傷の原因となります。
- ストーブの輻射熱を長時間、直接皮膚にあてると火傷の原因となります。特に、乳幼児、お子様、お年寄り、身体の不自由な方がストーブの近くにいる場合は、まわりの方が注意してください。
- 薪を入れ過ぎ、または燃焼空気を取り入れ過ぎることなどによる、ストーブおよび煙突の過熱に注意してください。過熱は、ストーブ本体および煙突の破損や劣化を早めるばかりでなく、火災につながる恐れがあります。
- 常に乾燥した薪をご使用ください。乾燥が不十分な薪は燃えにくく、クレオソート（スス・タール）が多く発生し、煙道内火災につながる恐れがあります。
- シーズンのはじめに、ストーブおよび煙突を点検してください。煙の排気を妨げる、木の枝や鳥の巣などを取り除いてください。延焼して火災につながる恐れがあります。
- 灰は、ストーブ本体が冷えている状態で処理してください。火傷の原因となります。
- ガスケットは、ストーブ本体が冷えている状態で交換してください。火傷の原因となります。
- ストーブ表面は、ストーブ本体が冷えている状態でお手入れしてください。火傷の原因となります。
- 扉ガラスは、ストーブ本体が冷えている状態でお手入れしてください。火傷の原因となります。
- 扉ガラスの縁に直接触れると、ケガの恐れがあります。メンテナンスの際は、軍手などをはめてください。
- ガスケットを交換するときは、お部屋の床や家具が汚れないように養生してください。
- 吹きこぼしなどによって、調理中に天板が汚れた場合は、必ずストーブが冷めてから、表面を掃除してください。加熱中に表面を掃除すると、火傷の原因となります。
- 燃焼中は扉を開ける前に、一次燃焼用給気口・エアーカーテン・二次燃焼用給気口が全開であることを確認してください。給気口を閉めているときに扉を開けると、急な大量給気によって、炎が扉から外に出る恐れがあります。
- 煙突掃除の際は、お部屋の中が煤だらけにならないように周囲の養生をしてください。

大きな地震などの天災により、損傷の恐れがある場合には、使用せず、煙突ジョイント部等の確認をしてください。使用の再開については、弊社または販売店へご相談ください。

ドブレストーブの仕組み

ドブレストーブは、クリーンバーニング方式を採用しています。下記イラストは、燃焼時の空気の流れを表わします。

■ 燃焼用給気

一次・二次燃焼用給気レバーで、給気口の開閉を操作します。レバーを開けて、燃焼用給気を炉の中に供給します。

■ 一次燃焼用給気

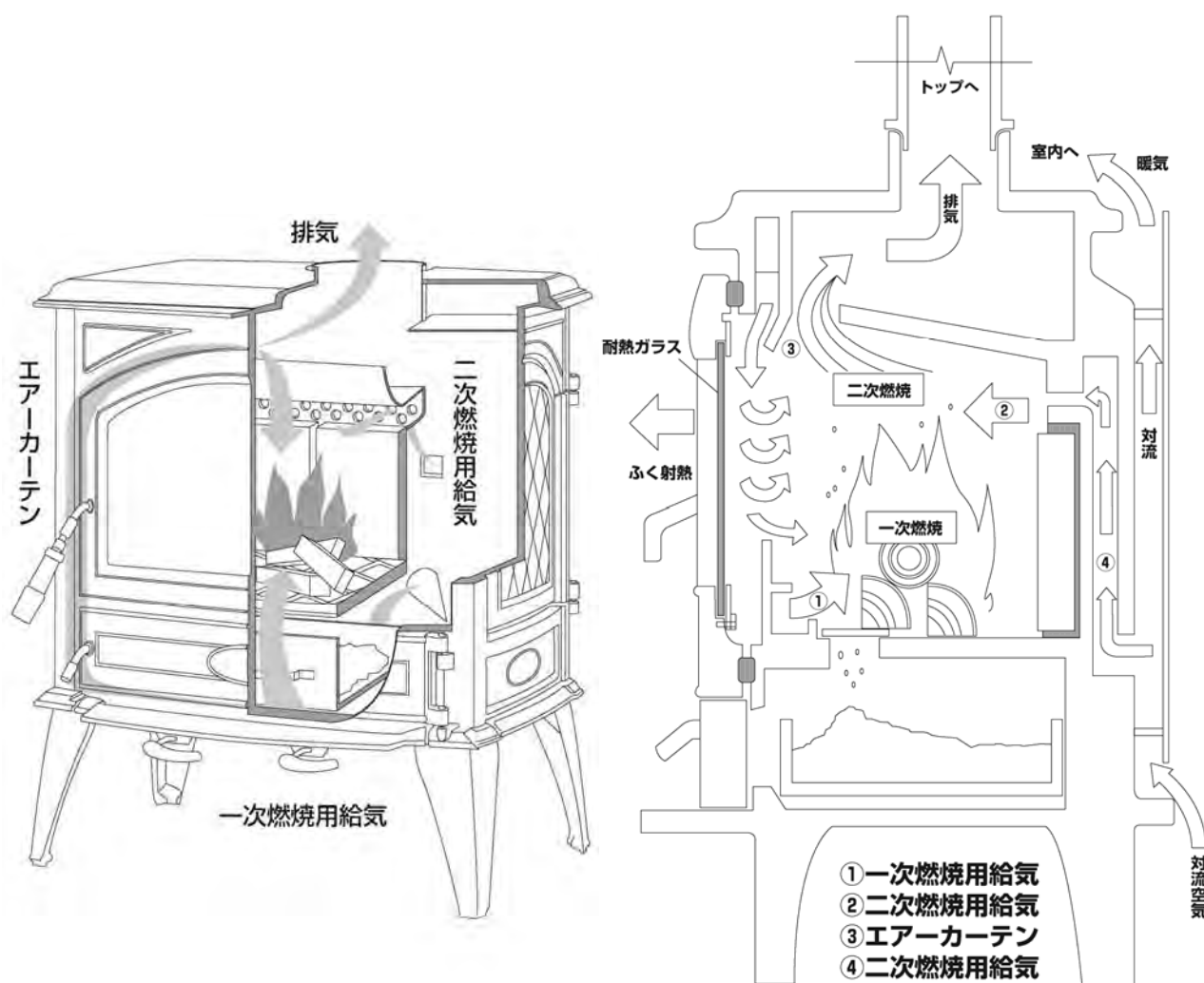
薪の初期燃焼を促進させて、炉の中の温度を上げます。

■ 二次燃焼用給気

一次燃焼で燃え残ったススやガスを再燃焼させて、熱効率を上げるとともに、クリーンな排気が煙突から排出されます。また、高温になった空気がガラスの内側に流れ込み、エアーカーテンとなってガラスが汚れるのを防ぎます。一次燃焼により炉の中の温度が高まり、ストーブ天板表面温度が 200℃になった頃に、一次燃焼用給気口を閉じます。二次燃焼が始まります。

■ 熱交換システム

室内の冷たい空気は、ストーブ底面から入って暖められ、炉の背面を通してさらに温度を上げ、本体上部より室内へ出て行きます。



ご使用前に

初めてのご使用時は、薪を燃やすと、薪ストーブ本体および室内煙突に塗られていた錆止め油や塗料が馴染むまで、臭いや煙が出ることがあります。臭いや煙が出た場合は、窓を開けるなどして、十分換気してください。また、メンテナンスで塗料を塗りなおした場合には、同様に臭いや煙が出ることがあります。十分換気してください。

点検

シーズンのはじめは、ストーブと煙突を点検し、煙突内の煙の排気を妨げる木の枝や鳥の巣などを取り除いてください。

薪ストーブ使用時のポイント

■ 薪ストーブと気密住宅

最近、気密性の高い建物が多くなっています。気密住宅には、排気のための換気扇と、室内へ空気を取り入れるための室内給気口が設置されています。

室内給気口を閉じたまま排気をする、室内が負圧になります。室内が負圧の状態では薪ストーブを使用すると、煙が屋外へ排気されずに室内へ戻る場合があります。これは、煙突が室内給気口の働きをするためです。

室内に煙が戻ってきた場合は、換気扇を止めたり、室内給気口を開けたり、窓を少し開けたりしてください。室内の負圧状態が解消され、煙突の排気の力が戻ります。

煙突は、換気扇のように機械的に煙を屋外に排気しているわけではありません。薪を燃やして炉の中と煙突が暖まると、煙突内に自然な上昇気流が生じ、煙は屋外へ排気されます。そのため、煙突や炉の中が十分暖まっていない時に扉を開けた場合にも、煙が戻ることがあります。

■ 薪ストーブと環境

薪ストーブで薪をきちんと燃焼させた場合、発生する煤は少量です。また、薪を燃やして発生する二酸化炭素は、化石燃料を燃やして発生する二酸化炭素と違い、植物が光合成と共に栄養として吸収して循環するエネルギーです。薪を燃やすことで地球上の二酸化炭素が増えることはありません。薪は地球に優しい燃料です。

薪だけを燃やしている限り、ダイオキシンなどの有害物質は生じません。しかし、薪以外のものを燃やすと、有害物質が発生したり、薪ストーブを傷めたりします。薪ストーブは焼却炉ではないので、ビニールや化学成分（接着剤）の混ざった廃材、ダンボール、ゴミや雑誌などを燃やさないでください。

■ 薪の選び方

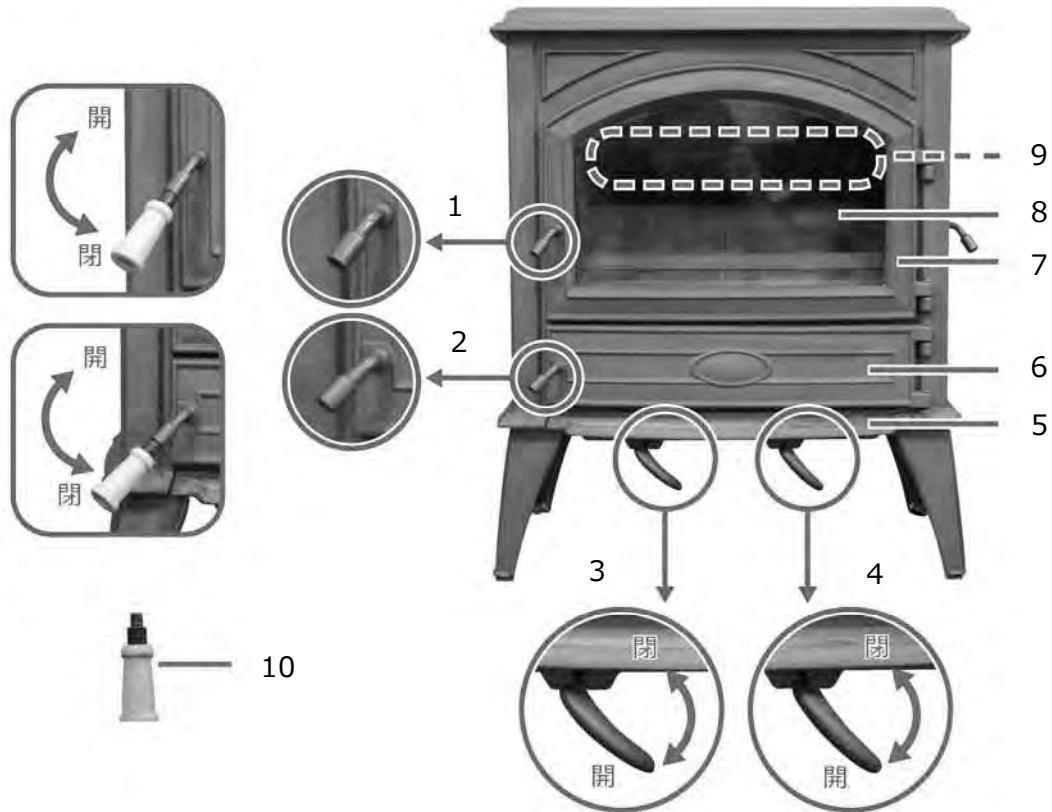
割ったばかりの薪は、どんな達人でも上手く火付けできません。不完全燃焼によって、煙が多く発生して、あまり暖かくなりませんし、煙突内はドロドロに汚れます。乾燥した薪を燃やしてください。

乾燥した薪を燃やすことは、薪ストーブを使用するときが一番重要なことです。また、樹種を選ぶことも大切です。『ナラ、ブナ、クヌギ、サクラ、リンゴ、ニセアカシア』などの広葉樹といわれている木は、薪に適しています。身が詰まっていて重く、樹液が少なく、火持ちが良いからです。『マツ、スギ、ヒノキ』などの針葉樹は樹液が多く、火持ちはあまりよくありませんが、火力が強いため、焚きつけに適しています。樹液の多い薪は、火力が強いため、そればかりを燃やすと炉を傷めたり、煙突内が松脂のようなドロリとした煤で汚れたりすることがあります。そのため、主燃料には広葉樹の薪を使用することをお勧めします。

ドブレストーブ 640CB、760CB

各部の名称と機能

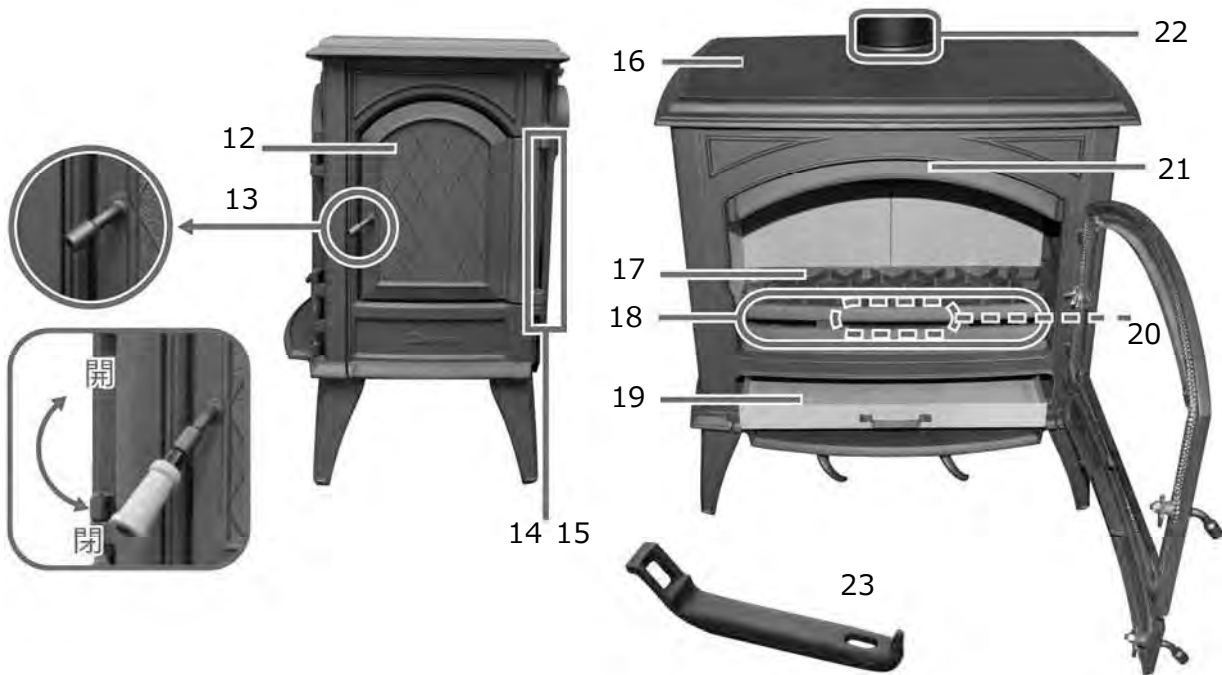
640CB と 760CB の各部の名称と機能は同じです。ここではドブレストーブ 760CB を例に説明します。



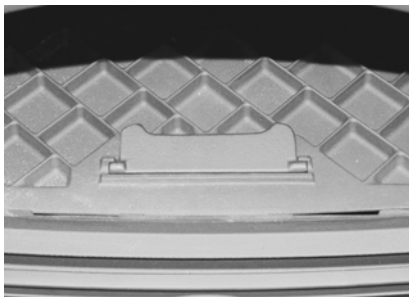
1. 正面扉開閉レバー
正面扉開閉レバーを上に戻すとロックが外れて扉が開き、下に戻すと扉がロックされます。
2. 灰受け扉開閉レバー
灰受け扉開閉レバーを上に戻すとロックが外れて扉が開き、下に戻すと扉がロックされます。
3. 一次燃焼用給気レバー
一次燃焼用の給気量を調整します。レバーを下に戻すと給気口が開き、上に戻ると給気口が閉まります。
4. エアーカーテン・二次燃焼用給気レバー
エアーカーテンおよび二次燃焼用の給気量を調整します。
5. エプロン
炉の中の灰や薪が、床に落ちることを防ぎます。
6. 灰受け扉
7. 正面扉
8. 扉ガラス
9. 二次燃焼用給気吹出口
二次燃焼用給気の吹出口です。バッフルプレート（煙返し部）にあります。
10. レバーハンドル（脱着式）
正面扉、側面扉、灰受け扉で共用です。扉を開けるとき、閉めるときに使用します。
11. 灰かき棒
炉床の灰を取り出すときに使用します。



11



12. 側面扉
13. 側面扉開閉レバー
側面扉から薪を追加すると、熱気を受けません。また、大きな薪を追加するときに便利です。
14. 一次燃焼用給気口
背面にあります。
15. エアーカーテン・二次燃焼用給気口
背面にあります。
16. 天板
やかん、鍋などを置いて、加熱調理できます。
17. 炉床
薪を置きます。ワッフル状のくぼみには、灰がたまります。
18. ログガード
燃焼中の薪が崩れたときに、薪がストーブの外に落ちることを防ぎます。
19. 灰受け
灰を取り出すときに使用します。灰が炉床にたまったら、灰を灰受けに入れて取り出します。
20. アッシュリップ
炉床から灰受けに、灰を落とす穴をふさぎます。一次燃焼用給気の吹出口があります。



ワンポイントアドバイス

一次燃焼用給気の吹出口があるため、アッシュリップが灰に埋もれないようにしてください。

21. エアーカーテン吹出口
22. 口金（アウトレット）
23. 多機能ハンドル
灰受けを取り出すときに使用します。

ご使用方法

⚠ 注意

扉および給気口の開閉操作、着火、薪の投入など、ストーブを扱う場合は、必ず保護手袋を装着してください。燃焼中および燃焼後しばらくの間、ストーブは大変熱くなるため、直接触れると火傷の原因となります。

準備

ストーブを使用するために、下記のものを用意します。

- ・ よく乾燥した薪
- ・ 着火剤
- ・ 焚き付け用の薪
- ・ マッチまたはライター
- ・ サーモメーター
- ・ 保護手袋
- ・ フタ付きの不燃性の容器（灰入れバケツ）
- ・ 十能（ファイヤーセットのシャベル）

ワンポイントアドバイス

湿った薪は、火がつくまでに時間がかかります。そのため湿った薪を炎の中に投入すると、給気を絞ったときに、消えることがあります。**よく乾燥した薪をご使用ください。**

薪は、保管中に湿気を吸収しないように、風通しの良い場所で保管してください。

正面扉の開閉

1. 正面扉開閉レバーのロックを外して、レバーハンドルを手前に引いて正面扉を開けます。



2. 正面扉を閉めて、正面扉開閉レバーをロックします。

側面扉の開閉

1. 側面扉開閉レバーのロックを外して、レバーハンドルを手前に引いて側面扉を開けます。



2. 側面扉を閉めて、側面扉開閉レバーをロックします。

灰受け扉の開閉

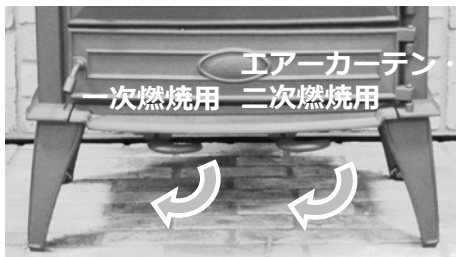
1. 灰受け扉開閉レバーのロックを外して、レバーハンドルを手前に引いて灰受け扉を開けます。



2. 灰受け扉を閉めて、灰受け扉開閉レバーをロックします。

一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用給気口の開閉

1. 一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用給気レバーを、それぞれ図中の矢印の方向に回します。



各給気口が開きます。

2. 一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用給気レバーを、それぞれ図中の矢印の方向に回します。



各給気口が閉まります。

着火

まずは炉の中を暖めます。給気を全開にし、薪を燃やしましょう。

1. 一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用給気口を全開にします。
2. 正面扉を開けます。
3. 焚き付け用薪を炉床に積みます。薪のそばに着火剤を2、3個置きます。

ワンポイントアドバイス

焚き付け用薪を多めに入れると、炎が速く広がります。
使用済みの割りばしなどを、焚き付け用薪として使えます。



シーズンの初めや、着火作業に慣れるまでは、手順4の前に室内空気の循環をチェックします。「室内空気の循環をチェックする」(10ページ)を参照してください。

4. マッチまたはライターで着火剤に火をつけます。



5. 炎が起きてきたら、薪 2~3kg (2、3 本) を入れます。

薪の長さ、炉のサイズによって、積み方が違います。長い薪や小さめの炉の場合は、薪を斜めに入れるなどの工夫をしましょう。



ワンポイントアドバイス

焚き付け用薪の炎の熱で、炉の中を早く暖めることにより、薪の発火を促進させます。

6. 扉を閉めます。
7. 薪全体に炎が回ったら、一次燃焼用給気口を閉めます。



ワンポイントアドバイス

エアーカーテン・二次燃焼用給気口からの給気が、二次燃焼を発生させます。背面からゆらゆらと揺れている炎が、二次燃焼による炎です。

8. 天板の温度が約 200℃になったら、エアーカーテン・二次燃焼用給気口を徐々に閉めます。エアーカーテン・二次燃焼用給気口を閉めるときは、炎が消えないように気をつけてください。

ワンポイントアドバイス

炎を強める場合はエアーカーテン・二次燃焼用給気口を開き、弱める場合はエアーカーテン・二次燃焼用給気口を閉めて、給気を調整します。

室内空気の循環をチェックする

シーズンの初めや、着火作業に慣れるまでは、薪に火をつける前に、室内空気の循環を確認しましょう。

1. ファイヤーセットのシャベル (十能) に着火剤 (ライトバグ) を乗せ、火をつけます。
2. 十能に乗せたライトバグの火種を炉の中にさらします。炉床に投入はしません。
3. 十能の上の火種が真っ直ぐ上に伸びていることを確認します。



火種が手前に向かって伸びてくる場合は、煙突が排気できていません。換気扇を止めたり、居室給気口を開けたりして、室内が負圧になる原因を解消します。「薪ストーブ使用時のポイント (5 ページ)」の「薪ストーブと気密住宅」を参照してください。

4. 十能に乗せた火種を炉床の薪にくべます。

薪の追加

炉の中の薪がおき火の状態になったら、薪を追加します。

1. 一次燃焼用、エアーカーテン・二次燃焼用給気口を全開にします。
2. 正面扉または側面扉を開けて、薪を追加します。

ワンポイントアドバイス

側面扉から薪を入れると、熱気を受けずに炉の奥へ薪を入れることができます。



3. 扉を閉めます。
4. 薪全体に炎が回ったら、一次燃焼用給気口を閉めます。
5. 天板の温度が約 200℃になったら、エアーカーテン・二次燃焼用給気口を徐々に閉めます。

消火

警告

ストーブから離れるときは、すべての扉がロックされていることを確認してください。薪が崩れて扉が開き、燃焼中の薪や火種がストーブの外に落ちると、火災の原因となります。

1. すべての扉を閉めて、ロックします。
2. 薪の火が消えるまでそのままにしておきます。

ワンポイントアドバイス

通常は、強制的に薪の火を消す必要はありません。自然に消火されるまでそのままにしておいてください。

どうしても強制的に消火したい場合は、燃え残りの薪を、水が入っている不燃性のバケツや、密閉式の火消し壺に入れて消火してください。しかし、炉の中の細かいおき火は消えません。また、火のついた薪を炉の中から移動する場合、床に火種が落ちる恐れがあるため、十分注意が必要です。

緊急時の消火

緊急時の消火については、消火器を炉の中に噴射する、または濡れた布を炉床に投入する方法があります。この方法は、ストーブを壊す恐れが大きいため、緊急時の最終手段です。

ストーブの熱を利用して、簡単な料理を楽しみましょう。

● 焼き芋

灰受けにサツマイモを入れて焼き芋を作りましょう。

大きなサツマイモは灰受けに入らない場合があるため、灰受けの大きさに合わせた、細くて小さなサツマイモをご用意ください。

1. サツマイモをよく洗います。
2. 洗ったサツマイモを新聞紙で包みます。
3. 新聞紙で包んだサツマイモを水にひたします。
4. 新聞紙は剥がさずに、そのままアルミホイルで包みます。
5. 扉を開けて灰受けを引き出し、サツマイモを灰受けに入れます。



6. 灰受けを元に戻して、扉を閉めます。
7. 1時間ほど、そのままにしておきます。
8. 扉を開けて灰受けを引き出し、サツマイモを取り出します。
9. 冷めないうちに、焼き芋を食べましょう。(^ o ^)

● 煮込む

ストーブの天板に鍋を置いて煮込み料理ができます。

天板で加熱するときは、底の平らな鍋を直接天板に置いてください。

スープやシチューを煮込みましょう。

日常のメンテナンス

灰を取り出す

⚠ 警告

灰は、必ず不燃性の容器に入れてフタをし、可燃物のない場所に保管し、完全に鎮火後、廃棄してください。

灰を処理するときに紙袋や樹脂製バケツなどは、絶対に使用しないでください。灰が入っている容器を、可燃物の上に置かないでください。

灰は冷めているように見えても、長時間火種が残っています。

⚠ 注意

灰は、ストーブ本体が冷えている状態で処理してください。火傷の原因となります。

灰は炉床を保護する役割があります。シーズン中は、灰を完全に取り除かないでください。シーズン終了後は、灰をすべて取り除いてください。灰は湿気を吸うため、サビの原因となります。

灰を取り出すために、下記のものを用意します。

- ・ 軍手など
- ・ フタ付きの不燃性の容器（灰入れバケツ）

灰を取り出すときは、手が汚れないように軍手などをはめてください。

1. 正面扉を開けます。
2. アッシュリップを持ち上げて外します。



アッシュリップは、ログガードに立てかけます。

3. 灰かき棒を使用して、灰を手前に集めます。
4. 集めた灰を、炉床の穴から灰受けに落とします。

灰は、ワッフル状の炉床のくぼみを埋める程度に残します。



5. アッシュリップを元に戻します。
6. 正面扉を閉めて、灰受け扉を開けます。

7. 多機能ハンドルを灰受けの取っ手と底に引っかけます。



8. 多機能ハンドルを手前に引いて、灰受けを取り出します。

灰の量が多い場合は、少し揺らし、灰をならしてから取り出します。



9. 多機能ハンドルを灰受けから外して、灰受けを両手で持ち直します。

10. 灰を不燃性の容器に入れます。容器はフタをして、不燃性の床や台の上に置きます。

灰は、不燃性の容器に入れて保管し、完全に鎮火してから廃棄します。灰は消火したように見えても、長時間火種が残っています。

11. 灰受けを元に戻し、灰受け扉を閉めます。

12. 灰は、完全に鎮火してから廃棄します。

灰を捨てる時のゴミ分別は、各地方自治体の指導に従ってください。

ワンポイントアドバイス

灰はアルカリ性なので、園芸や畑の土壌改良に使用できます。お庭や植木がある場合は、肥料として利用できます。

その他のメンテナンス方法については「メンテナンス」(15ページ)を参照してください。

メンテナンス

扉ガラスのお手入れ

⚠ 注意

- 扉ガラスは、ストーブ本体が冷えている状態でお手入れしてください。火傷の原因となります。
- 扉ガラスの縁に直接触れると、ケガをする恐れがあります。メンテナンスの際は、軍手などはめてください。

扉ガラスのお手入れのために、下記のものを用意します。

- ・ 軍手など
- ・ 汚れを拭く布（ウエス）
- ・ ガラス磨き（S84）
- ・ ガラスクリーナー（S82）

ワンポイントアドバイス

軽い汚れは、濡れた新聞紙に灰をつけて磨きます。ガラスにススがこびり付く前にお手入れをすると、簡単にきれいになります。

1. 乾いたウエスに、ガラス磨き（S84）を適量塗布します。
2. 汚れたガラスをよく拭いて、ススを取り除きます。
落ちにくい汚れは、液体タイプのガラスクリーナー（S82）をティッシュペーパーに含ませて、ガラスに貼り付けて10分ほどおいてから拭き取ります。
3. 濡れたウエスでガラス磨きを拭き取ります。ガラスに洗浄成分が残らないように丁寧に拭き取ります。

ストーブ表面のお手入れ

⚠ 注意

ストーブ表面は、ストーブ本体が冷えている状態でお手入れしてください。火傷の原因となります。

ストーブ表面のお手入れのために、下記のものを用意します。

- ・ 軍手など
- ・ 古歯ブラシなど
- ・ やわらかいワイヤーブラシ、または目の細かいサンドペーパー
- ・ スプレー塗料またはストーブポリッシュ

ワンポイントアドバイス

やかんの輪ジミ、鍋の吹きこぼれは放っておくとサビの原因となります。天板の周辺には、日ごろからオリーブオイルを薄く塗りこむことも良いでしょう。

1. ストーブ表面の焦げつき、サビなどを古歯ブラシでこすって落とします。
落ちない場合は、やわらかいワイヤーブラシ、または目の細かいサンドペーパーで磨きます。
2. スプレー塗料を塗って自然乾燥させます。

ワンポイントアドバイス

長期間使用しない場合は、上記の作業後に、本体にオリーブオイルを塗りこむことも良いでしょう。表面に深いツヤが出るとともに、サビの防止になります。

灰の処理

灰が炉床にたまってきたら、灰を取り除きます。詳細については、各機種種の「日常のメンテナンス」を参照してください。

640CB、760CB13 ページ

煙突掃除

⚠ 警告

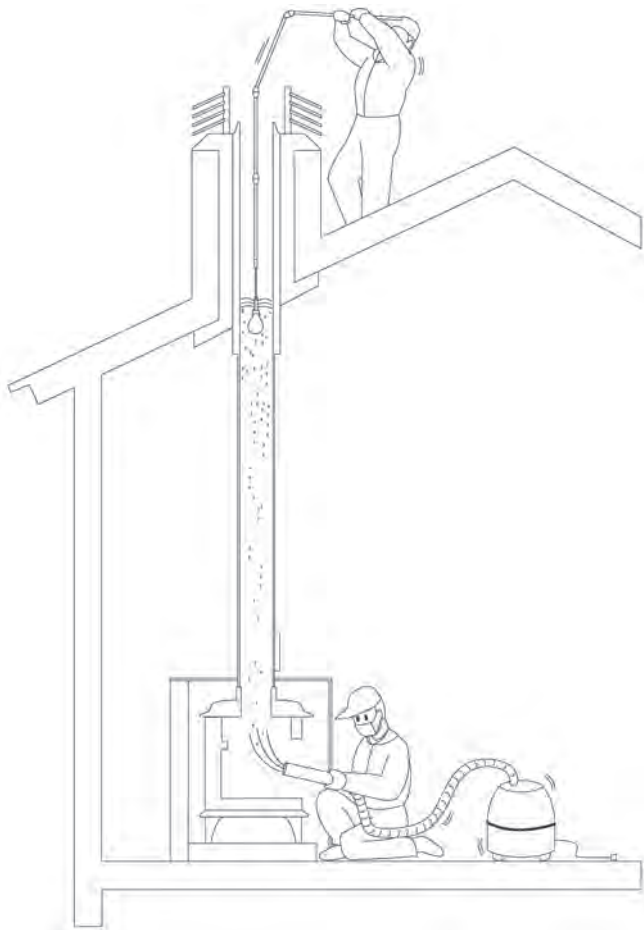
- 煙道内火災は煙突だけでなく、建物本体にもダメージを与えて、火災の原因となる恐れがあります。一年に一回以上、煙突を掃除してください。
- 屋根に上って作業をする場合は、安全を確保しておこなってください。

⚠ 注意

煙突掃除の際は、お部屋の中が煤だらけにならないように周囲の養生をしてください。

薪を燃やすと、クレオソート（スス）が煙道内に付着します。クレオソートは、木のタールの蒸留によってできる液体です。クレオソートは着火点が低いので、煙道内火災の原因となります。ストーブの使用頻度にもよりますが、1年に1回以上は煙突を掃除して、ススを取り除いてください。

弊社あるいは販売代理店へご連絡いただければ、煙突を掃除および点検いたします。



ガスケットの交換

⚠ 注意

- ガスケットは、ストーブ本体が冷えている状態で交換してください。火傷の原因となります。
- 扉ガラスの縁に直接接触すると、ケガをする恐れがあります。メンテナンスの際は、軍手などはめてください。
- ガスケットを交換するときは、お部屋の床や家具が汚れないように養生してください。

ガスケット（扉などの内側周囲についているグラスファイバーロープ）は、扉とストーブ本体の隙間を埋める部品です。ガスケットが消耗すると扉を密閉できなくなり、余分な空気がストーブ内に流入します。

3年前後を目安に、交換が必要になります。煙突掃除および点検作業のときに一緒に交換すると良いでしょう。

ワンポイントアドバイス

ガスケットが消耗すると、薪が速く燃えるようになります。初めの頃と燃え方が変わったら、ガスケット交換の時期です。

ガスケットを交換するために、下記のものを用意します。

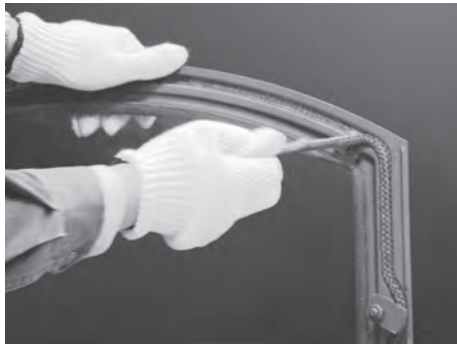
- ・ 軍手など
- ・ マイナスドライバー
- ・ ワイヤブラシまたはサンドペーパー
- ・ 汚れを拭く布（ウエス）
- ・ 新しいガスケット
- ・ ガスケットセメント
- ・ ハサミ

ここではドブレストーブ 760CB の正面扉のガスケット交換を例に説明します。

1. マイナスドライバーをガスケットのつなぎ目に差し込んで、ガスケットの端を取り出します。



2. ガスケットを、溝から引きはがします。



3. 溝についているガスケットセメントやガスケットの繊維を、マイナスドライバーなどで取り除きます。



ガスケットセメントを取りきれない場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパーで溝をならします。細かいホコリなどはウエスで拭き取ります。



4. 新しいガスケットセメントを溝に充填します。



5. ガスケットを溝にぴったりと貼ります。



6. 余分なガスケットを切り取ります。ガスケットの端は、浮かないようにしっかりと溝に押し込みます。



ワンポイントアドバイス

ガスケットの継ぎ目が多いと密閉度が低下することがあります。なるべく一本のガスケットを使用してください。

ガスケットの太さは、溝の太さに合わせてください。ガスケットが太すぎる、または細すぎると扉の密閉度が低下します。

7. ガスケットセメントを自然乾燥させます。ガスケットセメントの自然乾燥には、約1日かかります。

ワンポイントアドバイス

急激に乾かすとセメントがひび割れたり、はがれたりすることがあります。自然に乾燥するのを待ちましょう。

仕様

仕様表

ドブレストーブ	640CB	760CB
燃焼方式	クリーンバーニング方式	
本体材質	鋳物	
扉位置	正面・右	正面・右
給気調整レバー	2	2
外気取入機能	○	○
灰受け	○	○
ヒートシールド	○	○
使用薪最大長さ	500	600
最高出力	11.0kW	13.0kW
炉開口寸法 (W×H)	450×190	540×230
本体寸法 (W×D×H)	650×550×760	780×580×800
本体重量	190kg	210kg
本体色	ドブレブラック	

分解図

ドブレストーブの分解図および品番です。

消耗、破損した部品についてのお問い合わせのときに分解図と品番を参照し、部品の番号 (NO.) を弊社にお知らせください。

ドブレストーブ640CB 19

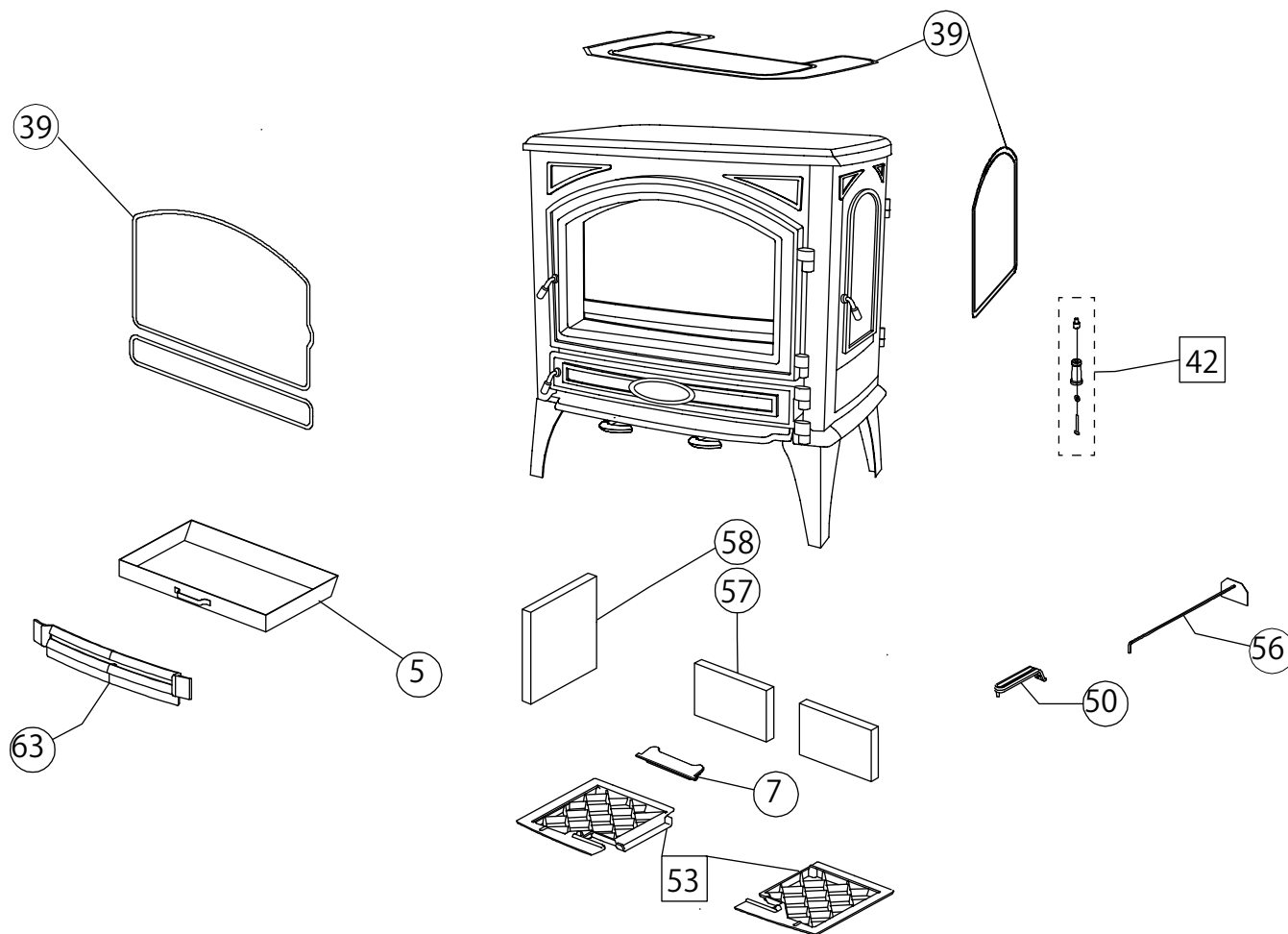
ドブレストーブ760CB 21



RE:Jul.17.'15

ドブレ640CBJ パーツリスト

※本パーツリストは、予告なく変更する場合があります。記載の部品以外の交換はしない
 ※本製品の改造及び本パーツリスト以外の分解に対しての一切の責任は負いかねます。
 本部品に関わる交換、分解改造に対し全ては自己責任で行う必要があります。
 利用の結果生じた損害について、一切責任を負いません。



NO.	品番	名称
5	203010104	ドブレ640CB アッシュトレイ(灰受)
7	20301010154	ドブレ640/760/ハ°がサ共通 DEASHING COVER(炉内)
39	203010707	SK-Service kit 8φ×5m+セメント
42	20301010160	ウッドハンドルショート
50	20301010123	ドブレ640/760/500共通 cold hand ashpan
53	20301010126	ドブレ640CB burningbottom right、 left
56	20301010135	ドブレ640/760/500/700共通 スクレイパ-
57	203010103	ドブレ640CB バ-ミキライトバグプレート
58	203010102	ドブレ640CB バ-ミキライトサイトプレート
63	20301010131	ドブレ640CB logguard wood



RE:Dec.12'14

特約店あるいは弊社へご連絡いただければ、煙突掃除および点検修理いたします。
ご購入先または説明書記載の弊社各営業所までご連絡ください。

標準使用期間とアフターサービスについて

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を5年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が5年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホールを受けてから使用してください。詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記載された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、標準使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

ガスケット（扉などの内側周囲についているグラスファイバーローブ）は、扉とストーブ本体の隙間を埋める部品です。ガスケットが消耗すると扉を密閉できなくなり、余分な空気がストーブ内に流入します。3年前後を目安に、交換が必要になります。煙突掃除および点検作業のときに一緒に交換すると良いでしょう。

修理を依頼される時は

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または説明書記載の弊社各営業所までご連絡ください。

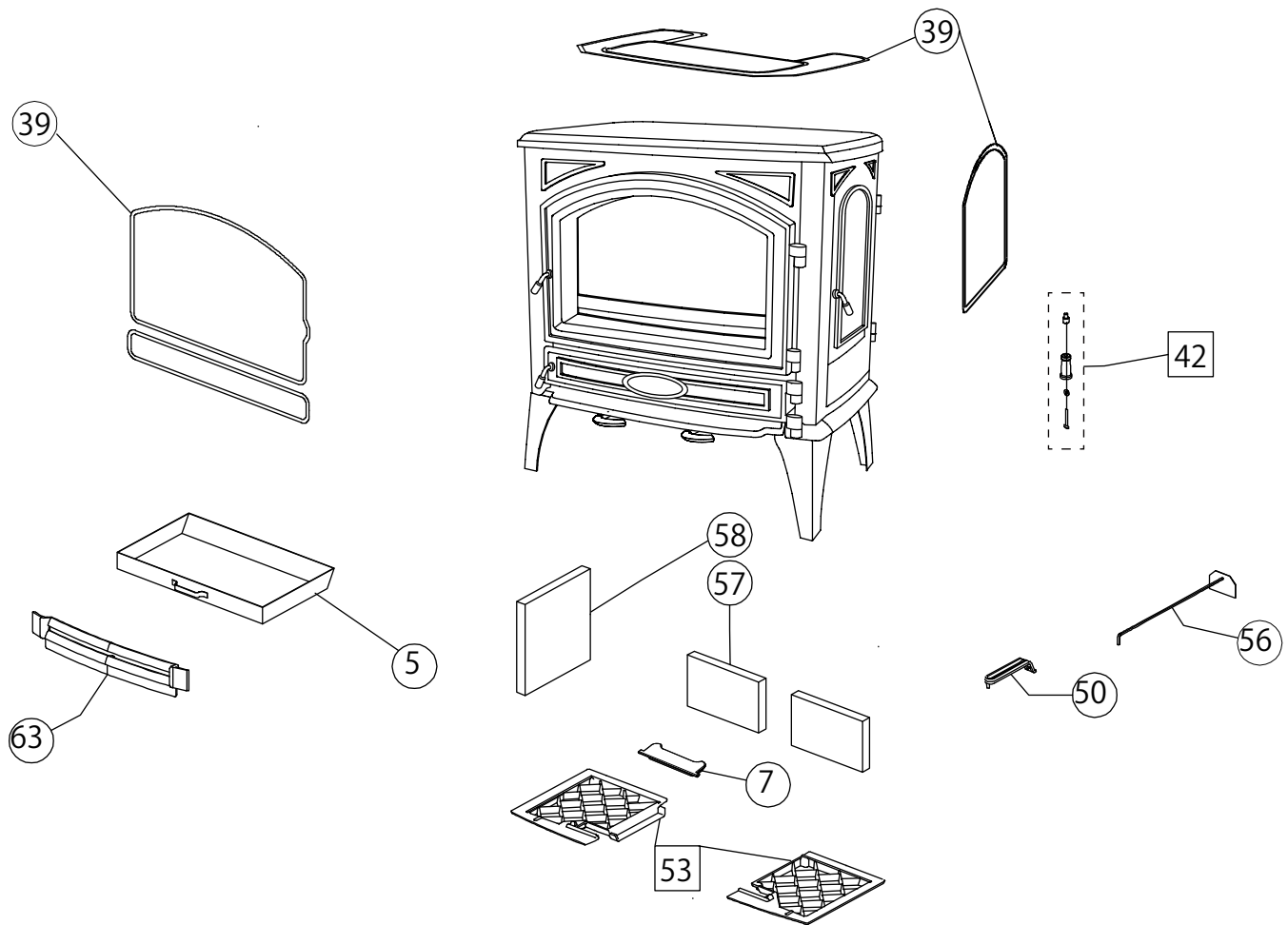
ご連絡いただきたい内容
お客様名・ご住所・電話番号
製品名・型番・シリアルNo.・ご購入先・引渡日、使用状況
故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします）。



RE:Jul.17.'15

ダブル760CBJ パーツリスト

※本パーツリストは、予告なく変更する場合があります。記載の部品以外の交換はしない
 ※本製品の改造及び本パーツリスト以外の分解に対しての一切の責任は負いかねます。
 本部品に関わる交換、分解改造に対し全ては自己責任で行う必要があります。
 利用の結果生じた損害について、一切責任を負いません。



NO.	品番	名称
5	20301020107	ダブル760CB アッシュトレイ(灰受)
7	20301010154	ダブル640/760/へがサス共通 DEASHING COVER(炉内)
39	203010707	SK-Service kit 8φ×5m+セメント
42	20301010117	ダブル640/760/700共通 handle wood 短
50	20301010123	ダブル640/760/500共通 cold hand ashpan
53	20301020129	ダブル760CB burningbottom(左右共通)
56	20301010135	ダブル640/760/500/700共通 スクレイパー
57	20301020106	ダブル760CB ハーミキュライトバックプレート
58	20301020105	ダブル760CB ハーミキュライトサイドプレート
63	20301020132	ダブル760CB logguard wood



RE:Dec.12'14

特約店あるいは弊社へご連絡いただければ、煙突掃除および点検修理いたします。
ご購入先または説明書記載の弊社各営業所までご連絡ください。

標準使用期間とアフターサービスについて

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間を5年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が5年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧めいたしますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホールを受けてから使用してください。詳細につきましては弊社各営業所までお問い合わせください。

注1：標準使用期間と保証書に記載された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、標準使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責任を負いません。

ガスケット（扉などの内側周囲についているグラスファイバーローブ）は、扉とストーブ本体の隙間を埋める部品です。ガスケットが消耗すると扉を密閉できなくなり、余分な空気がストーブ内に流入します。3年前後を目安に、交換が必要になります。煙突掃除および点検作業のときに一緒に交換すると良いでしょう。

修理を依頼される時は

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または説明書記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
お客様名・ご住所・電話番号
製品名・型番・シリアルNo.・ご購入先・引渡日、使用状況
故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願いいたします）。

オプション用品

燃料



ナラ薪 箱入り
梱包サイズ：H430×W400×D230mm
薪の長さ：約360mm 重さ：約14kg



ライトバグ (着火剤) 36 粒
LN36



メト杉っ子
梱包サイズ：約550×400×200mm
LN36



ライトバグ (着火剤) 250 粒
LN250

メンテナンス用品



ガラス
クリーナーリキッド
S82



ガラス
クリーナージェル
S84



ガスケットセメント
DV60



ガスケットセメント
(耐火セメント メタル用/ガスケット用)
S77 / S77E



ストーブ艶出し
S72



ドブレスプレー



ドブレガスケットロープ
&セメントセット
SK-Sevice Kit
(8mm×5m, D V60×1本)

その他のオプション用品



カラーコーン箱入り
S30991



カラーコーン／ギフトバスケット
SGB



薪はさみ
JA708



グローブ
MGL



TM-C-75
薪ストーブ用温度計



W18BK-S
灰入れバケツ
φ240 x 300 x 400mm



F-02B
シャベル
100 x 150 x 450mm

アクセサリ関係のカタログを用意してあります。
弊社あるいは販売代理店へお問い合わせください。

トラブルシューティング

トラブル	原因	対処法
火の燃えが良くない。	薪が湿っている。	よく乾燥した薪を使用してください。
	太い薪だけを使用している。	焚き付け用薪を多めに使用してください。
	給気量が少ない。	燃焼用給気口を開けてください。
	煙突やトップ部にススやクレオソートがたまっている。	煙突を掃除してください。
室内に煙が戻る。	換気扇が回っている。	換気扇を止めてください。（負圧環境の解消）
	炉の中の温度が十分上がっていない状態で扉を開けた。	炉の中の温度が十分上がっていない状態で扉を開けると、本体の構造上、多少煙が戻ってくる場合があります。故障ではありません。
	建物周辺で下降気流（ダウンバースト）が起きている。	局所的、短時間に希に発生する気象条件ですので、天候の回復を待ってお使い下さい。
	煙突が短い。	煙突を追加する必要があります。弊社または特約店、販売店にご連絡ください。
	煙突やトップ部に煤、クレオソートがたまっている。	煙突を掃除してください。
薪の燃えが速すぎる。	一次燃焼用給気口が全開になっている。	天板の温度が180-250℃位になったら、一次燃焼用給気レバーを調整してください。 火を弱める場合は、給気口を閉めます。
	針葉樹を燃やしている。	ナラ・ブナなどの広葉樹を使用してください。 松などの針葉樹は、ヤニなどの高燃焼成分が多く、広葉樹に比べ燃焼は早くなります。 ゆっくり炎を楽しむ場合は広葉樹をお勧めします。
	細い薪を多く使用している。	太い薪を使用してください。
	扉がしっかり閉まっていない。	扉を閉めてロックしてください。
	ガスケットが消耗している。	ガスケットを交換してください。
ガラスが汚れやすい。 タールが漏れる	薪が湿っている。	よく乾燥した薪を使用してください。
	給気口レバーを閉めるのが早い。	全体が暖まっていないときに給気を絞ると、不完全燃焼となり、煤が多く発生します。 薪とおき火の状態により給気口を調整する。 漏れたタールは逐次拭き取って下さい。
金属音がでる	鋳物の膨張収縮でしみがでる。	異常ではありません。
ストーブがなかなか暖まらない。	薪が十分に乾燥していない。	よく乾燥した薪を使用してください。

*点検確認作業はストーブ本体が冷えている状態で処理してください。火傷の原因となります。
弊社または特約店、販売店へご連絡いただければ、煙突を掃除および点検整備いたします。

※設計上の標準使用期間 - 5年


本期間は標準的な使用条件下で使用した場合に経年劣化により安全上支障なく使用頂ける期間を示します。
この期間を過ぎると安全に使用できない確率が高くなり、無償保証期間とは異なり、一般的な故障を保障する物ではありません。製品の保障期間（二年）とは異なります。この期間でも適切な点検を行わず使用されますと経年劣化により、けが、火災等の事故に至るおそれがあります。

【輸入元】

 株式会社メトス

URL <http://www.metos.co.jp>

メトス本社フリーダイヤル (通話無料/受付時間 平日9:00-17:00)

 0120-113-779

札幌営業所	〒060-0041	札幌市中央区大通東7丁目 (ノースシティ・大通ビル)	TEL (011) 272-3201(代) FAX (011) 272-3205
東京営業所	〒104-0045	東京都中央区築地6-16-1 (Daiwa築地616ビル)	TEL (03) 3542-0573 FAX (03) 3544-1874
名古屋営業所	〒464-0074	名古屋市千種区仲田2-18-6 (新仲田ビル)	TEL (052) 763-2811(代) FAX (052) 763-2870
大阪営業所	〒550-0004	大阪市西区靱本町1-6-6 (大阪華東ビル)	TEL (06) 4803-0168(代) FAX (06) 4803-0456
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町16-26	TEL (092) 471-5801(代) FAX (092) 471-5802

製品の点検修理・部品のご用命はこちらまで
